



第35号
編集発行所 〒990-2492 山形市鉄砲町一丁目15-64
山形県立山形西高等学校 嚶鳴同窓会 電話 023-641-3504



“想い”を繋いで 新たな出発へ

会長 武田 美津子 (昭和39年卒)

4月より幾度となく母校を訪れる機会がありました。校舎正面に掲げてある

「高き理想

清き矜持

かたき誓ひ

ああ ひかりはここに」の言葉を見る度に、高校生に戻ったかのように胸がときめいて来ました。

音楽堂や古い校舎、そして懐かしい恩師の先生方の授業風景や友の顔が思い出されてきます。

私は西高10回生ですが、「ナイター」の言葉に象徴される

受験体制が定着し、就職率・進学率が高まるという成果をあげていた時期に学びました。

「汽車通」の私にとって、切

磋琢磨し合える時間を共有できた友がいたことで3年間頑張ったのだと思ひ返してあります。ところで、今年の山形は、「チェンジの年」といわれております。西高同窓生である吉村知事の誕生は、創立110周年を迎えた嚶鳴同窓会にとりまして大変名譽なことであり、大きな慶びでありました。躍進する山形県づくりに勤しんでおられる吉村美栄子さんのご活躍を心から願ってやみません。

また、「サッカー」モンテディオ山形の一の活躍、山形の新しいお米「つや姫」の誕生、東京銀座にオープンしたアンテナショップ「おいしい山形」ラザ、映画「おくりびと」やNHK大河ドラマ「天地人」などの話題は山形県の知名度を高め、県民に新たな活力を与えてきています。嚶鳴同窓会もまたこれまで以上に会員の交流を深め、新しい息吹を感じる活動になることを願っております。創立110周年の事業を成し遂げられました佐藤伶子前会長の後任として、浅学非才の私には荷が重いのですが、同窓生皆様の更なるご支援を賜り、嚶鳴精神を受け継ぎ、「想い」を繋いでいかなければと意を強くしております。皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。



社会的役割を自覚し、 高い理想に燃える

校長 黒田 聖司

嚶鳴同窓会の皆様におかれましては、益々ご壮健にて、各界において、多彩な活躍をなされていますことに、心からお慶びを申し上げます。昨年度は本校創立110周年という記念すべき年であり、記念事業、記念式典、祝賀会等を会員の皆様のご協力により、立派に実施することができました。また、本校OGで劇作家・演出家・女優の渡辺えり氏の記念講演、嚶鳴女声合唱団・山形西高音楽部合同による記念合唱は、感銘深いものであり、心から感謝を申し上げます。

米大統領オバマ氏就任演説での「Yes, We Can

ねー」(そうだ、我々にはできる)の言葉は、米公民権運動の指導者キング牧師の「I Have a Dream」(私には夢がある)の演説を踏まえたものであります。キング牧師の「いつか肌の色ではなくその人となりで評価される国に住める日が来る」という夢が、46年を経て、初のアフリカ系大統領誕生という形で遂に達成されました。保守的な風風の強い山形県でも本校OGの吉村美栄子氏が女性として東北地方で初めて知事に就任されました。本校の使命は、生徒一人ひとりが「親睦友愛」と「切磋琢磨」の心を象徴する嚶鳴精神と「Yes, We Can」の言葉が、神を基盤に、国家及び社会の有為な形成者となるため、鋭い知性と豊かな感性を持ち、社会的役割を自覚し、高い理想に燃えることでもあります。そして、その理想の実現に向けて自己の能力の極限にチャレンジし、その能力がフルに発揮され、それが、世のため、人のため、社会の発展に少しでも役に立つ生き方ができるようにすることでもあります。教職員一同、本校の使命を自覚し、地域に開かれた、信頼され、活力ある学校づくりに進めてまいりますので、皆様の母校へのあたたかいご指導とご支援をお願い申し上げます。



平成21年度 総会のお知らせ

大勢の方のご参加をお待ちしています。

- と き 11月8日(日) 午前10時30分開会
- と ころ パレスグランデール (山形市荒橋町一丁目17-40)
- 会 費 5,000円
- アトラクション フラダンス カワラオオハワイ山形中川ミチコ教室
- スライドショー 現在までの母校の姿
- ◎チケット購入のお問合せ TEL 090-1931-4043 (同窓会総会当番学年/担当 田村)



私たちが ～平成20年度 嚶鳴同窓会総会～

平成20年11月16日(日)、嚶鳴同窓会総会がパレスグランデールにて行われました。当日は600名を超える同窓生の皆様にご参加いただきました。

総会は佐藤倫子前会長のご挨拶で始まり、次に黒田聖司校長先生より10周年記念行事のご報告や学校の現状などをお話いただきました。議事は松浦英子前副会長が議長を務め、厳粛に滞りなく進行いたしました。

嚶鳴精神でつながる

引き続き祝賀式典では、昭和63年卒の恩師である長岡信也先生に来賓を代表してご挨拶いただきました。高邁な理想を掲げ独自の教育理念を持ってご指導いただいた当時を振り返り、改めて先生方の

情熱とご努力に感銘いたしました。素晴らしい歌声に予想外のアンコールまで起こり、オペラ「愛しいお父さま」で感動が最高潮に。余韻を残しつつ祝宴へ移りました。

横田光正元校長先生のご発声で乾杯となり、司会を担当したフジテレビアナウンサー 武田祐子さんの軽快なトークで大変場もなごみ、各卓とも歓談が弾まれていた様子でした。祝宴もエンディングへと向かい、嚶鳴女声合唱団より新旧校歌斉唱と「ラヴィアンローズ」「時代」を歌っていただきました。そして閉会の挨拶後に、サブライズとして用意した映像をご覧いただきました。

戦前から終戦までの学校の様子が、喜寿菅野様のお話と重なり当時が偲ばれました。



一言でいえば今回の同窓会総会のテーマは「つながり」でした。最後にそのつながりを全員で共有することが、私たち当番学年のゴールでした。同窓会総会を感慨無量に終えることができましたのも、皆様の温かいご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

（昭和63年卒 武田 靖子）

110年と今 ～嚶鳴同窓会東京支部～

<http://www.ounmei.jp>

嚶鳴の

6月28日(日)、催されました。山形からは黒田聖司校長先生、恩師の小原直子先生、本部役員の方々と、これまで数々のご助力をいただいた佐藤倫子前会長がご出席くださいました。

総会参加者は昨年を上まわる282名、内、平成21年卒の新人12名の出席がありました。嚶鳴の輪を次の世代へ受け継いで行くための種々の取り組みが、ようやく成果を上げつつあると感じました。

（昭和44年卒 笠井 ひで子）



今年のエンターテインメントはDVD「写真でふりかえる西高110年のあゆみと今」の上映と東京嚶鳴女声合唱団の歌声でした。

DVDは準備学年の昭和57年卒生が、西高や諸先輩のご協力により集めた写真や資料

若い力

2年に一度開かれる寒河江支部総会は、第6回を数えることとなり、4月25日(土)、グランデール寒河江を会場に開催されました。

新役員体制となつて初めての総会に、どうなる事かと心配しましたが、当日は大先輩を始め、これまで参加された事のない若い方が多数参加され、活気ある若やいだ総会となりました。議事は滞りなく進行し、皆で声掛け合つて、会員を増やしていくこととし、締めくくりました。

新調した「嚶鳴同窓会」の看板を背に記念写真を撮り、

（昭和34年卒 佐藤 陽子）



「つながり」をテーマに、最後にそのつながりを全員で共有することが、私たち当番学年のゴールでした。同窓会総会を感慨無量に終えることができましたのも、皆様の温かいご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

（昭和63年卒 武田 靖子）



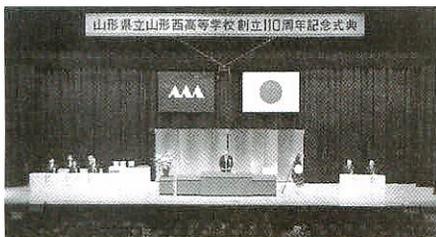
母校の歩みと「嚶鳴」の誇りを心に刻んで

創立110周年記念式典

平成20年10月23日、山形県県民会館において山形県立山形西高等学校創立110周年記念式典が挙行されました。式典では校長式辞に始まり、110周年記念事業実行委員会会長の尾原正悦郎嚶鳴後援会長の挨拶や、山形県教育長山口常夫様の祝辞などに長い歴史を振り返ると共に、「嚶鳴精神」で繋がれている過去から現在までの西高の存在を感じ、生徒も職員も聞き入っていました。

記念講演としてお招きしたのは48年卒業の女優・渡辺えり氏。「歩いてきた道、歩いてゆく道 舞台に恋して」という演題で、全校生徒と講演を聴きに來られた保護者および一般を含めた満員の聴衆を前に、独特の語り口で会場を沸かせました。

最後に、記念演奏として嚶鳴女声合唱団の演奏がありました。始めに現役音楽部員と嚶鳴女声合唱団合同により1



曲演奏され、世代を超えた80人の合唱団が心をひとつにして音楽を届けました。その後、阿部昌司氏指揮により、嚶鳴女声合唱団が得意の高田作品や当時のコンクール曲を披露し、その豊かな表現力と深い音色で聴衆を魅了しました。また最後は、もう一度合同で山形県民歌「最上川」を高らかに歌いあげ、110周年記念式典を感動的に締めくくりました。

記念式典次第

- 1 開式の辞
- 2 君が代斉唱
- 3 校長式辞
- 4 挨拶 創立110周年記念事業実行委員会会長 尾原正悦郎
- 5 祝辞 山形県教育長 山口 常夫様
- 6 感謝状贈呈 株式会社ナイガイ様 山形建設株式会社様 山形カロツェリア研究会様
- 7 校歌斉唱
- 8 閉式の辞

記念講演

演題 「歩いてきた道、歩いてゆく道 舞台に恋して」
講師 渡辺 えり氏（劇作家・演出家・女優）

記念合唱

嚶鳴女声合唱団・山形西高等学校音楽部合同
指揮 吉田 朋世 ピアノ 須藤恵美子
そのひとがうたうとき 詩・谷川俊太郎 曲・松下 耕
嚶鳴女声合唱団
指揮 阿部 昌司 ピアノ 須藤恵美子
赤い機関車 詩・高田 敏子 曲・高木 東六
女声合唱組曲「水のいのち」から 川 海よ
詩・高野喜久雄 曲・高田 三郎

（県高校総合体育大会）

- 在校生の活躍**
- 登山部 最優秀（インターハイ出場）
 - サッカー部 第1位（東北大会出場）
 - なぎなた部 第1位（インターハイ・東北大会出場）
 - 団体競技 第1位（インターハイ・東北大会出場）
 - 個人試合 第1位 八鍬 真緒（東北大会出場）
 - 第3位 八鍬 里咲（東北大会出場）
 - 演技競技（バク） 第1位 長谷川詩織 明野 橋本（東北大会出場）
 - 第2位 高橋 美帆 長瀬 汐里（東北大会出場）
 - 第3位 八鍬 真緒 八鍬 里咲（東北大会出場）
 - テニス部 団体 第2位（東北大会出場）
 - シングルス 第1位 岩田 弘絵（東北大会出場）
 - ベスト8 大泉和佳子 大泉和佳子 岩田 弘絵（東北大会出場）
 - 卓球部 団体 第3位
 - ダブルス ベスト6 原田 夏美 逸見 枝里（東北大会出場）
 - シングルス ベスト12 逸見 枝里（東北大会出場）
 - バドミントン部 団体 第3位
 - ダブルス ベスト8 齋藤佳菜絵 高橋 恵 三沢 優香
 - シングルス ベスト8

- 新体操部 団体 第3位
- 陸上競技部 走幅跳 第3位 中村 咲季（東北大会出場）
- 800m 第7位 佐藤 青葉 第5位 秋葉 小百合（東北大会出場）
- 7種競技 第4位 佐藤 青葉
- ＜第47回福沢諭吉記念祭全国高校弁論大会＞ 最優秀賞（1位） 佐竹 華奈
- ＜横尾弁医記念杯第63回全国高等学校弁論大会＞ 東海学園弁論部OB会奨励賞 佐藤友紀子
- 放送部 放送コンテスト 山形県放送コンテスト 山形県予選会
- ラジオキャンペーン部門 第2位（全国大会出場）
- 朗読部門 第3位 白井 詩織（全国大会出場） 第4位 岡崎 和花（全国大会出場）
- アナウンス部門 第6位 香曾我部早紀（全国大会出場）
- 美術部 全国高等学校総合文化祭 出品 國井 萌・三宅 友子
- ＜第54回全日本学生美術展＞ 特選 三宅 友子
- 音楽部 NHK全国学校音楽コンクール山形県コンクール 金賞 NHK全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール 銀賞
- ＜全日本合唱コンクール山形県大会＞ 金賞
- ＜全日本合唱コンクール東北支部大会＞ 銅賞

西高生がんばってます!!

平成21年度のインターハイには、登山部、い足跡を残しました。テニス部の出場が決定して、登山部は7年連続で、過去の最高成績は一昨年6位です。今年も引継ぎを期待しています。なぎなた部は個人シングルスに2年生の選手が2年連続出場を果たしています。県のトップ選手として注目が集まっています。文化部も引継ぎを期待しています。文化祭には放送部、美術部が参加します。全国レベルを経験す



る生徒とそれを心から応援する生徒によって、学校全体が活気に溢れています。後輩達の活躍に期待ください。



いつまでも輝いて...
卒業生からのお便り

山形を元気にしたい一念で県知事に

今年2月、山形はもとより東北で初めての女性知事となった吉村美栄子さんは、嚶鳴同窓生のお一人。高校時代の思い出や母校への思い、これからの抱負などを伺いました。

山形県知事 昭和45年卒 吉村 美栄子さん



自宅事務所にて

吉村さんが県知事に就任され、私たち同窓生も大変うれしく誇りに思っております。

ありがとうございます。今回の選挙では同窓生の皆さんが応援してくださって、足をしっかりと支えていただいていると感じました。県内のどこへ行っても「私も嚶鳴です、がんばってください」と同窓生の方から声をかけていただいている、とても心強かったですね。この場をお借りして心から御礼申し上げます。

—高校時代を振り返って、どなたの子が生まれて、この娘が

んな生徒でしたか。

勉強はしましたし、生徒会の規約改正委員でした。でも、模範生ではありませんでした。子供から大人になりかけの多感な年ごろで、人生とか愛とか、いろいろなことを考えていましたね。非常に生意気な生徒だったかな(笑)。

私は大江町の七軒という所で生まれ育って、小さいころは野山を駆けまわって遊んで

いきました。くだものが大好きで、なぜか長野の果樹園にお嫁に行きたいと思っていたんです。小学校の高学年になると探検家、中学生のころは社会正義を実現する新聞記者にあこがれて。いま思うと、世の中のことに関心を持ちはじめていたんでしょうね。同時にそのころ、姉夫婦に

少しづつ言葉覚えていくのを面白く思ったんです。それで言語心理への関心が芽生えて、高校時代には心理学や哲学に興味を持つようになり、屋根が上がって星空を眺めながら、人生とは、生きるとは何かと考えることも度々ありました。夢見る乙女だったんです(笑)。下宿して家族と離れていたため、一人で考える時間があつたからかもしれません。

一心に残っている思い出は？

2年生のときのことで、日野顕正先生が担任で、クラスマツチで優勝したんですよ。私が脚本を担当して『樞姫』の劇もやりましたし。あのときは、クラスの仲間がまとまって一つのものを創り上げる楽しさを味わいました。

いろいろな思い出があります。けれども、吉田一恵先生が漢文の授業のときに中国の歌を歌ってくださって、高音がとてもきれいだっただとか、内ズックのまま庭に出て斎藤徳先生に怒られたとか(笑)、そんな何気ない一コマが、不思議と印象に残っていますね。いまま高校時代のお友だちと交流がつづいているとか。ええ、大学に入って東京に

住んでいたときは一旦途絶えましたが、山形に戻ってからはまた復活しました。ちょうど子育てしているとき、乳母車を押してデパートに行ったら旧姓で「鈴木さくら」って、同級生だった友だちに声をかけられたんです。

その後、卒業から20年たった38歳のときに同窓会総会の幹事を引き受けて、1年間、打合せのためにしょっちゅう集まりました。それがきっかけで友だちとお付き合いも本格的に復活しましたし、同窓会も楽しくて、西高に入っ

てよかったと思えましたね。数年前には、同級生と美術館めぐりの会をつくったんですよ。いつの間にか温泉めぐりの会になりましたが(笑)。

—同窓生に、一言メッセージをお願いします。

いま西高生の皆さんには、勉強ももちろんですが「考えることが大事」と伝えたいですね。考えるということ、自分をつくること。何も考えないでは自分が深くなれませんから、大いに悩んで大いに考えてほしいと思います。

子育て世代の方たちには、子供を育てる喜びを味わってほしいですね。私自身、その真っ最中は大変でしたけれど、後になってみると一番充実している、珠玉の時間だったとわかりました。

—同年代の方からは、私が県知事になったことで「50歳代の後半から、新しい一歩を踏み出した人がいると思う」と、私も元気になった、がんばろうという気持ちがあわいてきた」と言われました。その言葉で、私もまた元気をいただいたんです。世の中を元気にするのは女性の笑顔ですから、一緒にがんばりましょう。

また、同窓会総会でお会いした先輩方は、いきいきとしていて素晴らしい方ばかりでした。私は、まだまだ発展途上。これからも進化して、先輩方のように自分の幅を広げていきたいと思えます。

—これからの抱負をお聞かせください。

私は、愛する山形を元気にしたい、その一念で県知事になりました。責任は重いですが精一杯、全力でやっています。考えています。

—ますますのご活躍を期待しております。今日はお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

(インタビュー) 青木・たなか

道木並

青木 智子
大将級の寒波が到来し、我が庭の池やつくばいぶ厚い氷が張った時の事である。勤めていた山形市内の某中学校の生徒達に、H・Rで「水」を山形方言で何と「言うか」と尋ねた。誰一人答えられなかった。

云うまでもなく「水」の山形方言はスガである。「春になればスガコも溶けて...」の歌にあるスガの頃はよく口ずさんだ歌であり、スガという語を知らぬ子供はいなかった。しかし、生徒達は歌を聞いたことがないと言う。更に驚いたことがある。その時、日本海に浮かぶ隠岐島や佐渡島では、水のことを「シミ」と呼んでいて、冬は「シミ」が凍って大根を寒気にさらして作る「凍み豆腐」や「凍み大根」も、或いはその筋から伝来したものかも知れないと話した。生徒達の殆んどが、「凍み豆腐」や「凍み大根」がわからないと言う。食生活が様変わりしている今の子供には無理からぬことかと説明した。

—時代の変遷と云えばそれまでだが、そんな事は知らなくても日常生活に支障ない世である。しかし、知っているのと知らないのでは、文学作品や書物を読む時に、味わいが大いに違ってくるし、季節の事物を見る目も大いに違ってくる。

—どこの県にも地方色豊かな方言や風物というものがある。山形水明の言葉どおりの美しい自然の中で暮らしている山形の子供達には、多くの事を見聞してほしい。日常のささいな事や、季節の移りや、心ももつと目を向けられれば、心も優しく豊かに成長していくと思うのである。



医師 29 年目になりました

昭和50年卒 池田 こずえ



私は昭和56年に山形大学医学部を卒業し、医師免許を修得しましたので、今年で医師29年目になりました。今は新卒医師の35-40%が女性ですが、私が卒業した頃は学年での女性の割合は5-10%でした。男性が圧倒的に

多かったです。以後、平成7年まで山形大学医学部第一内科で研究・教育・臨床を行い、その後は現在の済生会山形済生病院で循環器内科医として勤務しています。また、大学卒業した年の5月に、医学部の一学年上だった夫と結婚し、昭和57年と60年に出産しました。子供二人は同居の私の両親が全面的に世話をしてくれましたので私は仕事にはほぼ完全に専念できました。しかし、同僚の女性医師の多くが、共働きで子供を託児所に預け、子育てが熱を出したときには呼ばれたり仕事を休んだり大変苦労されていました。現在は女性医師の数が大変増えたものの、育児などでの生活支援はまだ十分ではなく、同志の女性医師と共に、平成17年6月に、山形県内の女性医師の生活と仕事を支援する目的で「山形女性医師ネットワーク」を立ち上げました。女性医師も男性医師も働きやすい環境となるよう活動しています。

嚶鳴のココロは今も！

昭和62年卒 越後 麻理



現在、東京渋谷のNHKでプロデューサーをしています。担当は、『着信御礼！ケータイ大喜利』や若者向けの特集番組。今年1月に放送した特番では全国から1,000人の若者を集めねばならず、先生方や卒業生の皆様にお力をお借りしました。改めて御礼申し上げます。

「西高出身でよかったー」と思う事が何度もありました。進学校ではありませんが、部活や校内行事にも「熱く」参加するのが嚶鳴の精神です。限られた時間の中で一丸となつて取り組み、その過程をも楽しんでしまう。それは、テレビ現場で最も必要とされるチカラなのです。思えばわたしの初脚本・初演出が嚶鳴祭前夜祭での寸劇でした。クラス企画が縁日



嚶鳴祭前夜祭での寸劇

「異色の新人」と呼ばれて

平成5年卒 野澤 真奈美



警察学校の卒業式で(前列左)

私は昨年、33歳にして警察官になりました。私は食べていくのに必死でした。昼はアルバイトで夜中に練習という毎日でした。年をとると地元の新聞は、私のことを「異色の新人」と題して紹介して下さいました。同級生や知合いから「新聞見たよ」等の反響をいただきましたが、正直一番驚いていたのは自分自身でした。それまで自分が異色だなどと思つたことはありませんでした。しかし、そう言われると、確かに私ほど好き放題生きてきた人はいないかもしれませんが、夢中で生きていく間に、いつしか私は異色の人間になっていたのかもしれない。

高校時代は登山部に在席し、良き先生や仲間と毎週大好きな山登りを楽しみました。国体やインターハイも経験させていただきました。大学では工学部に在席しましたが、勉強そつちのけでゴルフに夢中でした。卒業後は、大学で学んだ事など全く活かさぬまま、プロゴルファーをめざし静岡県に旅立ちました。プロになっても賞金で生計を立てられる人は一握りという厳しい世界で、私は食べていくのに必死でした。昼はアルバイトで夜中に練習という毎日でした。年をとると地元の新聞は、私のことを「異色の新人」と題して紹介して下さいました。同級生や知合いから「新聞見たよ」等の反響をいただきましたが、正直一番驚いていたのは自分自身でした。それまで自分が異色だなどと思つたことはありませんでした。しかし、そう言われると、確かに私ほど好き放題生きてきた人はいないかもしれませんが、夢中で生きていく間に、いつしか私は異色の人間になっていたのかもしれない。これから先、私は、これまでの経験を最大限に活かし、「異色の警察官」として少しでも山形県民の力になれるよう精一杯生きていきます。





平成20年度 主行事務報告

平成20年	5月7日	同窓会会計監査	本校嚶鳴会館事務室
	5月9日	第1回評議員会	本校嚶鳴会館食堂
	5月15日	嚶鳴三会会長副会長会	
	6月15日	東京支部総会	ホテルオークラ東京
	6月25日	校内合唱コンクール	山形県県民会館
	8月18日	第2回評議員会・第1回クラス幹事会	本校図書館・本校101教室
	10月23日	創立110周年記念式典	山形県県民会館
	11月16日	平成20年度同窓会総会	パレスグランデール
	12月16日	次年度当番学年へ引継ぎ会	パレスグランデール
	平成21年	2月19日	臨時評議員会
2月27日		同窓会入会式	本校嚶鳴会館和室
3月1日		第55回卒業証書授与式	本校体育館
3月23日		三役引継ぎ会	本校嚶鳴会館事務室

平成20年度 維持会費納入状況 (平成21年6月15日現在・納入者氏名省略)

◎平成20年度分で平成20年4月1日～21年6月15日までに納入されたもの ※150クラス分 450,000円

高女	昭和23～25年	西高	昭和37年	1～5組	西高	昭和48年	6組
	昭和26年	1～4組	昭和38年	1～5組	昭和50年	3・4組	
	昭和27年	1～4組	昭和39年	1～5組	昭和55年	1～6組	
	昭和28年	1～4組	昭和40年	1～6組	昭和57年	1・2組	
	昭和29年	1・3・5組	昭和41年	1～6組	昭和58年	1～5組	
西高	昭和30年	1～4組	昭和42年	1～6組	昭和59年	1・4組	
	昭和31年	1～4組	昭和43年	1～6組	昭和60年	1～6組	
	昭和32年	1～4組	昭和44年	1～6組	昭和62年	1～7組	
	昭和34年	1～4組	昭和45年	2・3・5組	昭和63年	1～7組	
	昭和35年	1～5組	昭和46年	1～6組	平成元年	1～7組	
	昭和36年	1～5組	昭和47年	1～6組			

◎平成20年度分で平成20年3月31日までに前納されたもの

南高	昭和29年	2・4組	西高	昭和49年	4・5組	西高	平成4～20年	全クラス
西高	昭和33年	1～4組	昭和50年	5・6組				
	昭和45年	1・4・6組	昭和58年	6組				

○会報編集委員(評議員)
 長岡 玲子 古瀬 孝子
 小松 節子 青木 智子
 奥山 潤子 たなか ゆうこ
 富樫 由美子 武田 靖子
 小松 史江
 ○会報担当校内理事
 佐藤 郁子 吉田 朋世

会報第35号はいかがでしたか。今年度より評議員になり編集委員として会報作りに参加させていただきましたが、編集委員の方々が、母校の先輩・後輩・恩師や在校生の活躍ぶりを紙面にてご紹介したく、1年前から情報収集されている様子を拝見し、さすが嚶鳴！と驚きました。来年度の紙面作りのために、ご活躍されている方のご紹介やご感想など、事務局までお声をお寄せいただければ幸いです。お忙しい中、多数の原稿をお寄せいただきました皆様ありがとうございます。どうぞ1年後をお楽しみに！



同窓会報へのお便りをお待ちしております

宛先 / 〒990-2492
 山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内
 嚶鳴同窓会報編集室「同窓生からのお便り」係
 お願い / 卒業年度、住所、電話番号をご記入の上
 お送りください。
 問合せ / TEL 023(641)3504 FAX 023(641)3516
 山形西高校内 同窓会報担当まで
 学校ホームページ / <http://www.yamagatanishi-h.ed.jp>



平成20年度 嚶鳴同窓会基本金決算

1 収入の部

(単位：円)

1. 前年度繰越金	13,142,924
2. 総会ご芳志	630,000
3. 総会残金	61,543
4. バッチ立替分(20年度分)	75,000
5. 定期預金利息	20,778
6. 普通預金利息	7,648
合計	13,937,893

(内、定期預金 7,400,000)

2 支出の部

(単位：円)

1. 21年度総会補助	100,735
2. 総会記念写真代・送料	183,050
3. 喜寿記念品代	283,500
4. 勤続10年表彰副賞	45,000
5. 110周年記念広告料	105,000
6. 合唱コンクール作詞表彰	8,000
合計	725,285

(1は振り込み手数料を含む。)

3 差引残高 13,937,893円 - 725,285円 = 13,212,608円
 定期預金 7,400,000円
 普通預金 5,812,608円

平成20年度 経常費決算

1 収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減(△)	摘要
入会費	708,000	708,000	0	3,000円×236人
会費	1,208,000	1,208,000	0	708,000円+500,000円
繰越金	400,156	400,156	0	19年度残金
雑収入	44	1,087	1,043	預金利子
計	2,316,200	2,317,243	1,043	

2 支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	残額	摘要
総会費	790,000	790,000	0	総会、各支部会
会議費	200,000	199,946	54	評議員会、クラス幹事会等
後援費	100,000	55,000	45,000	会員後援など
記念品費	75,000	75,000	0	新入会員の記念品費
印刷発行費	350,000	294,000	56,000	会報印刷、封筒印刷
事務費	20,000	5,439	14,561	事務用品他
通信費	150,000	101,650	48,350	連絡通信用葉書・切手
慶弔費	110,000	84,538	25,462	会員慶弔費その他
交通費	300,000	258,460	41,540	三役交通費、東京支部総会
諸費	200,000	160,328	39,672	入会式経費、全国大会出場餞別、事務室へ用紙代等
予備費	21,200	0	21,200	
計	2,316,200	2,024,361	291,839	

3 差引残高

(総収入) 2,317,243円 - (総支出) 2,024,361円 = (残高) 292,882円

平成21年度 経常費予算

1 収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
入会費	672,000	708,000	△36,000	3,000円×224人
会費	1,172,000	1,208,000	△36,000	672,000円+500,000円
繰越金	292,882	400,156	△107,274	20年度残金
雑収入	18	44	△26	預金利子
計	2,136,900	2,316,200	△179,300	

2 支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
総会費	820,000	790,000	30,000	総会、各支部会
会議費	19,000	200,000	△10,000	評議員会、クラス幹事会等
後援費	70,000	100,000	△30,000	会員後援など
記念品費	75,000	75,000	0	新入会員の記念品費
印刷発行費	320,000	350,000	△30,000	会報印刷、その他印刷
事務費	8,000	20,000	△12,000	事務用品
通信費	120,000	150,000	△30,000	連絡通信用葉書・切手
慶弔費	90,000	110,000	△20,000	会員慶弔費、その他
交通費	260,000	300,000	△40,000	三役交通費、東京支部総会
諸費	180,000	200,000	△20,000	入会式経費、全国大会出場餞別、事務室へ用紙代等
予備費	3,900	21,200	△17,300	
計	2,136,900	2,316,200	△179,300	